【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年５月15日
【会社名】	株式会社ｉｓｐａｃｅ
【英訳名】	ispace，inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役ＣＥＯ　袴田　武史
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町一丁目９番３号
【電話番号】	03－6277－6451（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役ＣＦＯ　兼　事業統括エグゼクティブ　野﨑　順平
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋本町一丁目９番３号
【電話番号】	03－6277－6451（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役ＣＦＯ　兼　事業統括エグゼクティブ　野﨑　順平
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

１【提出理由】

当社は、2026年３月期第４四半期連結会計期間（2026年１月１日～2026年３月31日）において、下記のとおり営業外収益を計上することとなりましたので、金融商品取引法第24条の５第４項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

２【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

2026年５月15日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

当社は、当2026年3月期第4四半期連結会計期間（2026年1月1日～2026年3月31日）において、為替差益650百万円を営業外収益に計上します。上記の金額は、主に当社連結子会社に対する外貨建貸付金の当四半期末（2026年3月末日）時点の為替相場による評価替えにより発生したものです。尚、当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）において、為替差益2,091百万円を計上しているため、当期連結累計期間（2025年4月1日～2026年3月31日）における為替差益は2,742百万円となります。

また、2023年10月に、当社は経済産業省が実施する「中小企業イノベーション創出推進事業」において、宇宙分野の「月面ランダーの開発・運用実証」テーマに、予算額（補助上限）120億円の補助対象事業として採択されておりましたが、これに係る補助金収入として2,583百万円を当2026年3月期第4四半期連結会計期間（2026年1月1日～2026年3月31日）に営業外収益として計上します。

(3) 当該事象の連結損益に与える影響額

上記の営業外収益（為替差益）の計上による業績への影響につきましては、本日公表の「2026年３月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しています。

以　上